

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 3 部門第 5 区分

【発行日】平成 17 年 8 月 4 日 (2005.8.4)

【公開番号】特開 2004-100055 (P2004-100055A)

【公開日】平成 16 年 4 月 2 日 (2004.4.2)

【年通号数】公開・登録公報 2004-013

【出願番号】特願 2002-260530 (P2002-260530)

【国際特許分類第 7 版】

D 0 1 F 8/14

D 0 1 D 5/30

D 0 3 D 15/00

【F I】

D 0 1 F 8/14 B

D 0 1 D 5/30 A

D 0 3 D 15/00 B

D 0 3 D 15/00 1 0 2 Z

【手続補正書】

【提出日】平成 16 年 12 月 24 日 (2004.12.24)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】特許請求の範囲

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

鞘部外周断面が三角形であり、芯部断面が 3 つの菱形より形成され、芯部の 3 つの菱形が一の頂点でつながり、該頂点に対向する頂点が鞘部外周部の三角形の各頂点方向に、繊維表面に露出することなく位置した断面形状であって、芯部が一次粒子の平均粒子径が 1 . 0 μ m 以下の二酸化チタンを 1 0 . 0 ~ 2 5 . 0 質量 % 含有するポリエステルからなることを特徴とするポリエステル芯鞘複合繊維。

【請求項 2】

一次粒子の平均粒子径が 1 . 0 μ m 以下の二酸化チタンを、ポリエステルに 2 0 ~ 7 0 質量 % の該二酸化チタンを混練して得たマスターバッチを、二酸化チタンの含有量が 1 0 . 0 ~ 2 5 . 0 質量 % となるようポリエステルで希釈混合したポリエステルの芯部に配し、鞘部にポリエステルの芯部を配して、鞘部外周断面が多葉状断面である紡糸孔を有し、多葉状の各頂点付近には芯部の紡糸孔を有する紡糸口金より、熔融紡出することを特徴とするポリエステル芯鞘複合繊維の製造方法。

【請求項 3】

請求項 1 記載のポリエステル芯鞘複合繊維からなるポリエステル織編物。